

2021年9月9日

報道関係各位

東京都港区芝大門1丁目9番9号
野村不動産芝大門ビル7階
近海郵船株式会社

東京港／大阪港／那覇港（沖縄）航路、新造船投入についてのお知らせ

弊社は北海道・本州・九州・沖縄の主要拠点間で貨物輸送サービスを提供する、RORO船定期運航を主体とした日本郵船グループの海運会社です。

この度、関東圏・関西圏と沖縄を結ぶ東京港／大阪港／那覇港の航路に於いて、より一層の安全・安定輸送を提供する為、現在就航中のRORO船「しゅり」を大型新造船に代替することと致しました。就航は2022年7月を予定しております。

代替新造船の主要目・特徴は以下の通りです。

（写真：弊社常陸那珂/苫小牧航路に就航中の類似型船「まりも」）



1. 主要目

就航航路	東京港／大阪港／那覇港（沖縄県）
営業区間	東京⇄那覇、大阪⇄那覇、東京⇄大阪
船主/建造造船所	瀬野汽船株式会社／日本シップヤード株式会社
総トン数	約 15,800 トン
全長／全幅	約 180m／約 27m
積載能力	13mトレーラー 161 台（コンテナ積載も可）／乗用車 161 台
冷凍用電源	220V 対応=95 口 + 440V 対応=5 口
航海速力	約 21.1 ノット
ランプウエイ	耐荷重量 約 75 トン（船首・船尾とも）
主機関	MAN-B&W 9S50ME-C8.5×1 基（電子制御低速機関）
搭載機器	船首スラスター×1基、船尾スラスター×2基 フィンスタビライザー（減揺装置）

2. 特徴

①船体大型化及び船内電源増設に拠る輸送キャパシティの拡大

現就航船に比ベトレーラーは約 40 台、乗用車は約 60 台の積載能力増強。

船内電源も約 30 口の増設とし、安定した輸送ニーズに貢献いたします。

②営業区間の拡張

これまでの東京⇄那覇間及び大阪⇄那覇間だけでなく、東京⇄大阪間も営業区間に加える事により、国内で需要の最も高い関西⇄関東間の幹線輸送に於いて、モーダルシフトや陸送ドライバー不足解消に貢献いたします。

③電子制御低速機関の搭載

主機関の燃料噴射等を電子制御化。気象・海象等の運航条件に合わせた最適な機関性能を発揮することにより、CO2の排出量を削減し環境への負荷低減に貢献いたします。

※本件に関する問い合わせ先は以下の通りです。

近海郵船株式会社 総務部（担当：寺島・菅原）

Tel：03-5405-8300 / Mail：somu@kyk.co.jp

以上